

天皇盃第31回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会北海道選手団の選考について

1. 大会日程

令和8年1月18日(日) 広島県広島市

2. チーム編成

監督1名・コーチ2名・選手10名 合計13名

3. コーチングスタッフ

監督 大井 貴博(東海大学附属札幌高校)

コーチ 須貝 紘太(札幌西陵高等学校)

コーチ 谷川 亮太(北見市立高栄中学校)

4. 代表選手選考方法

■中学(1) 10月26日(日)開催予定のディスタンスタイムトライアル第2戦で中学男子3000mの組を編成し、それを代表選手選考レースとし、1着の選手を代表として選出する。選考レースについては申込締切時までの公認記録上位20~30名を選出し、編成する。

(2) 他の2選手については、令和7年4月1日(火)から10月26日(日)までの3000mの公認記録を参考に上位から選出する。

(3) 駅伝大会本戦への出走は、開催地に現地入りしてからの状態または事前合宿等の結果を見て判断する。

(4) 中学2年生の3000m記録上位者2名を育成選手として選出する。
ただし、本戦に出場させることはない。また本戦のみの帯同で自費参加とする。
※中学1年生は対象としない。

■高校 下記日程の間に出した公認記録をもとに上位4名を選出する。

対象記録: 令和7年4月1日(火)から令和7年12月1日(月)までの公認記録

(1) 選考対象種目 5000m

(2) 選考優先順位 5000m記録上位者4名

(3) 基本的には記録上位者から正選手とするが、直前の合宿および現地入りしてからの状態によっては変更する場合がある。

■一般 5000m、10000mの記録上位者をもとに、実業団駅伝、大学駅伝の実績を考慮し、ふるさと枠を有効に活用しながら3名を選出する。

対象記録: 令和7年4月1日(火)から令和7年12月1日(月)までの公認記録

※基本的には10000mの記録を優先する。

※大会スケジュールや体調により調整が困難な場合、下位対象者を繰り上げる。

5. その他

(1) 代表選手の選考にあたり、一次合宿前に辞退者が出た場合やケガ・体調不良等が発生した場合、また強化委員会で開催する練習会・合宿等で派遣を委嘱されたにも関わらず正当な理由なく不参加の場合、下位対象者を繰り上げることとする。なお、練習会・合宿等は出走選手の選考材料ともなるので委嘱された場合は必ず参加すること。

(2) 本戦出走は、前記4を基本とするが、現地入りしてからの体調や状態によって最終的な判断をする。北海道チームとして上位を目指す上での判断となりますのでご理解をお願いします。